



カルペの第九

Carpe diem Philharmony 第4回定期演奏会 創団5周年記念公演

2024年2月10日(土)昼公演
ミューザ川崎シンフォニーホール
指揮 清水颯輝

※チケット情報は後日公開いたします

L. v. ベートーヴェン

交響曲第9番 ニ短調 Op.125 《合唱付》

合唱幻想曲 Op.80

奉献歌 第2稿 Op.121b ほか

参加者募集

参加資格：弊団の活動方針（裏面）にご賛同いただける、
かつ規定の回数以上練習にご参加いただけるみなさま

募集パート

オーボエ 1人：第九 2nd(団費減額対象) ヴァイオリン 1人：合唱幻想曲・奉献歌 2nd、第九 1st
ファゴット 1人：奉献歌 2nd・第九 1st ヴィオラ 3人
バスロンボーン 1人：第九 チェロ 1人

練習日程

演奏会参加条件：以下参加できる方。

- ・先生全奏9コマ①～⑨のうち6コマ以上
- ・声楽ワークショップ①～③(③は分奏とワークショップ両方に参加可)のうち少なくとも1回以上
- ・「分奏」「自主全奏」■のうち4回以上

- 10/ 7(土)午前 譜読み会
- ☆10/ 7(土)午後 声楽ワークショップ①
- 10/28(土)午前 初回自主全奏
- ☆10/28(土)午後 声楽ワークショップ②
- 11/11(土)午後 分奏(小編成)
- ☆11/11(土)夜間
弦/先生分奏、管/分奏、合唱/声楽ワークショップ③
- ①11/18(土)午前 先生全奏
- ②12/ 2(土)午前 先生全奏
- 12/ 2(土)午後 分奏
- ③12/16(土)午前 先生全奏
- 12/16(土)午後 自主全奏
- ④12/23(土)午前 先生全奏
- ⑤1/14(日)午前 先生全奏
- 1/14(日)午後 分奏
- ⑥1/20(土)午前 先生全奏
- 1/20(土)午後 自主全奏
- ⑦1/28(日)午前 先生全奏
- 1/28(日)午後 自主全奏
- ⑧⑨2/4(日)午前・午後 先生全奏(GP)

※学業や仕事の事情については考慮しますが、上記規定回数参加できない方は必ずセクションリーダーにご相談ください。
※合唱幻想曲参加者については別途要件あり、応募時にご確認をお願いいたします。

参加費 3～4万円程度(社会人、学生で傾斜あり)

カルペの第九 @ ミューザ川崎 に参加しませんか？

ここまで古典に注力してきたカルペの記念すべき5周年公演として、

ミューザ川崎で 第九×合唱幻想曲 の演奏を予定しています！

オケも合唱も大募集しています！ご興味がある方はお気軽にご連絡ください



公式マスコットキャラクター
かるのすけ

Carpe diem Philharmony ってどんな団体？

アマチュアのオーケストラ・合唱団を併設している団体で、古典に触れ、アンサンブルを身につける環境とするべく若い世代を中心に設立されました。

これまで、「テ・デウム」(M. A. シャルパンティエ)、「レクイエム」(G. フォーレ)、オラトリオ《天地創造》(F. J. ハイドン)などに取り組み、①バロック・古典派の様々な作品に取り組み、音楽性・知見を深める、②楽器/合唱パートを兼任して演奏し、オーケストラと合唱の垣根を越えて個人としても演奏の幅を広げる、といった活動の軸を築き上げてきました。

2024年2月10日第4回定期演奏会(創団5周年記念公演)では、「第九」ほかベートーヴェンの合唱付き管弦楽曲とともに演奏する仲間を大募集しております！

カルペの音楽の楽しみ方

全奏者が主体的に音楽作りに参加し、全員参加の音楽づくりを実施する

1. 全員がお互いの音を聴き、そのとき・そのメンバーだからこそできる音楽を作る

⇒構造が分かりやすい「バロック」「古典派」の音楽を通じて、

「見て合わせる」「聴いて合わせる」練習をし、アンサンブル能力を向上させる

2. プログラム全体を全員が理解し、音楽づくりに積極的に参加する

⇒奏者一人ひとりがどう弾きたいかを考え、実践する

⇒スコアを読み、自分のパートだけでなく、曲全体のことを考えて準備する

⇒それぞれの曲に対して、どういう演奏を目指したいかを奏者全員で考える

3. 「合唱付」の音楽を通じて、楽器奏者も含めみんなが「歌い方」を習得する

⇒楽器奏者も合唱に積極的に参加する

4. 団員それぞれの「やってみたい」を実現する

⇒カルペに参加する全員に機会が回るように努力する

⇒普段と違う楽器や合唱にも積極的に挑戦し、お互いに支援する

5. これまでの音楽経験や旧所属団体に囚われず、お互いの主体性を尊重する

演奏する音楽に対して、作曲者の心情や当時の時代背景などの知見を深め、様々な角度から掘り下げる

1. 各回でプログラム全体のコンセプトを設定し、

演奏曲の背景を深掘りしながら練習を進める

⇒プログラムの魅力や特長を、みんなで共有する

⇒曲同士の繋がりや、プログラムの中での位置づけを意識する

⇒作曲当時の時代背景を考えた演奏をする

2. 自分が出す音以外にも含め、曲全体の理解を深める

⇒スコアや音源を通して、曲全体の構造や特徴を考えてみる

⇒歌詞の意味や背景にある考え方を理解し、演奏に活かす

⇒普段と違う楽器や合唱にも積極的に挑戦し、広く経験を積む



主体性

×

知見

迷っている方はまずはご相談ください！
みなさまのご入団お待ちしております！

お問合せ：carpediemphilharmony@gmail.com

募集フォーム提出は
こちらから！



[https://forms.gle/
CNEugclBdGvn5ZxG6](https://forms.gle/CNEugclBdGvn5ZxG6)